

指定管理者事業報告書（令和6年度末報告）

令和7年4月28日 提出

担当課	生涯学習課
-----	-------

施設名	三原市宇根山家族旅行村		連絡先	0847-32-7891、0847-32-7145
指定管理者団体	団体名	宇根山活性化グループ		
	代表者名	特定非営利活動法人宇根山 代表理事 玉浦 清司		
	所在地	三原市久井町下津1173番地2		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
総括責任者	1人（1人）	0人	施設管理者	2人（2人）	0人
総務担当者	1人（1人）	0人	会計担当者	1人（1人）	0人
広報担当者	1人（1人）	0人	受付	3人（3人）	0人
企画担当者	2人（2人）	0人			
常勤職員（合計）	0人		非常勤職員（合計）	11人	

2 開村日・開村時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 α	実績【年間実績】 β	達成率 $\beta \div \alpha$	自己評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開村日	次の期間のうち土日祝 ○キャンプ場 令和6年4月1日～令和6年11月30日 ●天文台 令和6年4月1日～令和7年3月31日	次の期間のうち土日祝 ○キャンプ場 令和6年4月1日～令和6年11月30日 令和7年3月20日～令和7年3月31日 ●天文台 令和6年4月1日～令和7年3月31日		A	A	条例に従って実施されている
開村日数(X)	98	98	100.0	A	A	条例に従って実施されている
開村時間	○キャンプ場 日帰り 9:00～16:00 宿泊 13:00～翌12:00 ●天文台 昼 10:00～17:00 夜 18:00～22:00	○キャンプ場 デイキャンプ 9:00～16:00 宿泊 13:00～翌12:00 ●天文台 昼 10:00～17:00 夜 18:00～22:00	-	A	A	条例に従って実施されている
延べ利用者数(Y=A+B)	6,600	6,785	102.8	A	A	良好である。
うち通常業務(a)	6,480	6,273	96.8	A	B	計画を下回っている。計画等の見直しが必要である。
うち自主事業(b)	120	512	426.67	A	S	大幅に計画を上回っており、良好である。
延べ利用サイト数(Z)	3,626	1,246	34.4	A	B	計画を下回っている。計画等の見直しが必要である。
稼働率(①)	66.1%	22.7%	34.4	A	B	計画を下回っている。計画等の見直しが必要である。

※1 稼働率の計算式（単位：%）

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式

$$\text{利用者数 (Y)} \div \text{開館日数 (X)} \div \text{利用定員 (1日あたり __人)} \times 100$$

$$\text{利用サイト数 (Z)} \div (\text{営業日 (X)} \times 1 \text{日の販売可能なサイト数}) \times 100$$

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式 利用日数 (Z) ÷ 開館日数 (X) × 100

※2 稼働率欄の()内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
オートキャンプ サイトAC無(24)	650	800	32.2	679	820	31.1
オートキャンプ サイトAC有(10)	400	1,800	47.6	403	1,860	44.3
ビッグオート キャンプサイト(2)	150	1,480	89.3	164	1,513	90.1
バーベキューサイ ト(10)	100	70	11.9	108	714	11.9
宇根山天文台	—	1,800	100.0	—	1,878	100.0
合計	1,300	5,950		1,354	6,785	

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日（日）			土日祝日（日）			通年（日）		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
合計									

3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価	
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的な内容	評価	評価の内容
1 施設管理体制	職員配置	A		A	適切に配置されている。
	職員研修	A		A	適切に実施されている。
	利用促進業務	A		A	適切に実施されている。
	設備・備品管理	A		A	適切に管理されている。
	現金管理	A		A	適切に管理されている。
	安全体制管理	A		A	適切に管理されている。
	緊急時の対応	A		A	適切に実施されている。
2 利用者に関する業務	利用状況	A		A	適切に実施されている。
	利用料金の設定	A		A	適切に設定されている。
	接客対応	A		A	適切に実施されている。
	個人情報保護	A		A	適切に実施されている。
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	適切に実施されている。
	清掃等維持管理業務	A		A	適切に実施されている。
4 実施事業	企画運営事業	B	大勢の来場促進につながる企画不足	B	対応策について、検討が必要。
	自主事業	A		A	適切に実施されている。
通常事業の内容	予定カレンダー	A		A	適切に実施されている。
	PR（情報発信）	A		A	適切に実施されている。
自主事業の内容	夏のデイキャンプ	A		A	適切に実施されている。
	秋のデイキャンプ	A		A	適切に実施されている。
	落ち葉拾い&冬の星座	A		A	適切に実施されている。
	PR（情報発信）	A		A	適切に実施されている。

4 事業収支

	実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入合計】	9,396,000	9,874,457		
利用料金	2,000,000	2,453,811		
自主事業収入	20,000	42,102		
指定管理料	7,371,000	7,371,000		
その他	5,000	7,544		
【支出合計】	9,396,000	9,558,208		
人件費	5,000,000	5,214,726		
常勤	0	0		【収入】 利用料金収入が計画を上回っており、評価できる。今後も継続して利用促進に努めていただきたい。
非常勤	5,000,000	5,214,726		
事務費	300,000	390,174		
消耗品費	200,000	321,385		【支出】 人件費の高騰や、設備・備品の劣化による支出が計画を上回っているが、全体的に経費削減に努めている。
備品購入費	100,000	68,789		
事業費	366,000	414,022		【収支】 事業計画に沿った適正な管理運営等により、黒字を確保しており、評価できる。
通常業務	300,000	319,767		
自主事業	66,000	94,255		
施設維持管理費	3,630,000	3,483,369		
設備管理費	2,000,000	1,953,806		
保安警備費	0	0		
光熱水費	1,230,000	1,228,649		
修繕費	400,000	300,914		
その他	100,000	55,917		
運営管理費	100,000	55,917		
【取 支】	0	316,249		
支出のうち委託費	2,000,000	1,908,256		

5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
シャワー室の不足	利用者にご不便をおかけしていることをお詫びし、設置者（三原市）へ要望する旨を伝えた。	左記のとおり	特になし	適切に対応している。
オートキャンプ場からトイレが遠い	トイレに近いサイトを利用していただくようお願いし、設置者（三原市）へ要望する旨を伝えた。	左記のとおり	特になし	適切に対応している。
平日の受け入れができるようにしてほしい	開館・開場については、市の条例に基づいて決めているが、天文台については、団体利用等について、相談いただければ対応可能な場合があることを伝えた。	左記のとおり	特になし	適切に対応している。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

6 運営上の課題、市への要望等(ご自由にお書きください。)

内容	担当課回答
施設の経年劣化が目立つ（炊事場、キャンプサイト、トイレ）	緊急性等を考慮し、修繕・改修等の優先順位を決めて対応を検討する。
施設の経年劣化が目立つ（天文台の建物全体）	緊急性等を考慮し、修繕・改修等の優先順位を決めて対応を検討する。
身体障害者の天文台への来館対応が難しい。天体望遠鏡までの階段が狭く車いすのまま持ち上げることは不可能、おぶって上がるしか手立てがない。	行政として対応を検討するが、来館者が安全に利用できるよう対応をお願いしたい。

7 市担当課総合評価

1. 利用者数は、前年度に比べて、天文台・キャンプ場ともに増加している。引き続き、利用者数増加に努めていただきたい。
2. 自主事業については、天文台とキャンプ場の相乗効果を発揮しながら、利用者のニーズに合わせた事業展開を期待する。
3. 施設の管理運営については、経年劣化が進み、計画以上の設備管理費や修繕費が必要とされているが、経費削減に努めながら、適切に管理されており、評価できる。
4. 月次報告書が期限内に提出されないことや、集計表の計算間違いが見受けられるので、事務処理が適切に行えるように努めていただきたい。
各種計算書類は経営判断の大きな材料となるなど極めて大切な業務であるので、早急な対策をお願いしたい。